

授業科目

眼疾病学II

担当教員名 阿部 春樹	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

眼科診療における診断、治療について疾患別ではなく横断的な視点で学習する。眼科の診察介助、リスクマネジメントなど、外来診療に不可欠な実践的な事項を学習する。

授業の目的

身体と眼の関わりを学び、患者を多面的に診るための医学的な知識を得る。視能訓練士として臨床に出るための実践的な知識を得ることを目的とする。

学習目標

1. 眼疾患と外来診療の実際（問診、検査、診断、治療）を関連付けて考えることができる。
2. 外来診療におけるリスクマネジメントの重要性を理解し、説明することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	眼科画像診断（1）超音波、OCT、CT、MRI	講義	阿部 春樹
2	眼科画像診断（2）蛍光眼底撮影	講義	阿部 春樹
3	視路の障害と視野（部位診断） 主要な中枢性視覚障害	講義	阿部 春樹
4	眼疾患別 視野障害パターンとADL	講義	阿部 春樹
5	眼科外来の概要（診療の流れ、スタッフの役割） 眼科カルテ（読み方、書き方、管理、電子カルテ）	講義	阿部 春樹
6	眼科診察室で行う検査（細隙灯顕微鏡、前置レンズ、接触型レンズ、直像鏡と倒像鏡）	講義	阿部 春樹
7	眼科診察の介助（眼科処置、救急疾患、緊急事態への対応）	講義	阿部 春樹
8	屈折異常の臨床的な問題と眼鏡処方（特に学童近視、遠視、老視、白内障術後）	講義	阿部 春樹
9	コンタクトレンズ診療、コンタクトレンズの種類と管理	講義	阿部 春樹
10	眼科レーザー治療（網膜治療、緑内障治療、角膜治療、外眼部治療、眼科手術）	講義	阿部 春樹
11	眼科における再生医療、人工網膜	講義	阿部 春樹
12	眼科手術（術式と介助、術後管理） 白内障手術主体	講義	阿部 春樹
13	眼科医療におけるリスクマネジメント（左右取り違い、IOL取り違い、院内感染ほか）	講義	阿部 春樹
14	高齢社会と眼科診療 眼疾患別症例検討	講義	阿部 春樹
15	まとめ	講義	阿部 春樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円+税	
	標準眼科学 第13版	木下茂（編） 他	医学書院	2016年	7,000円+税	
参考書						
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

定期試験 80%

提出物 20%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週月曜日 18:00～19:00

P308

haruki-abe@nuhw.ac.jp